

## 履修モデル [2014 (平成26) 年度以前の入学生]

### 食品系の品質管理・分析をめざす

想定される具体的な進路・職種	食品会社
----------------	------

本学科の特徴である生物と化学に関する専門科目を幅広く学習することによって、専門基礎的な学力と知識を身に付けます。また、実験・実習を経験することにより、食品の化学分析、品質管理に携わる基礎的な知識を吸収することによって、食品系の品質管理・分析を行う職業をめざす人のための履修モデルです。

● : 選択科目   ● : 選択必修科目   ● : 必修科目

区分		授業科目			
		1年次	2年次	3年次	4年次
全学 共通 教育 部門	人間と文化科目群	●アジア文化論 ●文化人類学の世界			
	人間と社会科目群	●日本国憲法 ●国際化時代の人間と社会			
	自然と環境科目群	●物質の成り立ち ●生命の多様性 ●人間と環境			
	言語コミュニケーション科目群	●英語基礎Ⅰ (リーディング) ●英語基礎Ⅱ (リーディング) ●英語基礎Ⅰ (コミュニケーション) ●英語基礎Ⅱ (コミュニケーション)	●英語初級Ⅰ-Ⅰ (リーディング) ●英語初級Ⅰ-Ⅱ (リーディング) ●英語初級Ⅰ-Ⅰ (コミュニケーション) ●英語初級Ⅰ-Ⅱ (コミュニケーション)		
	情報技術科目群	●コンピュータリテラシー ●情報活用リテラシー ●情報社会と論理			
	健康とスポーツ科目群	●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ			
専門 部門	基礎教育科目群	●生物学 ●化学 ●物理学 ●数学 ●生物学実験 ●化学実験	●情報科学	●科学英語Ⅰ ●科学英語Ⅱ	
	学系共通	●生物環境実習 ●生物環境科学概説 ●生物環境科学Ⅰ ●無機化学 ●農場実習	●生物環境科学Ⅲ ●生物環境科学Ⅱ ●生物環境科学実験Ⅰ ●インターンシップⅠ ●生物測定学	●生物環境科学実験Ⅱ ●環境法 ●環境アセス論 ●インターンシップⅡ ●ゼミナールⅠ	●卒業研究 ●ゼミナールⅡ
		●生物環境科学特別講義Ⅰ			

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
生態保全学系		●生態学	●環境動物学 ●動物保全生態学 ●環境ストレス生物学	
緑地創造学系		●森林生態学 ●緑地環境学		
生物機能調節化学系	●生物化学	●植物栄養学 ●微生物学 ●植物生命化学 ●環境微生物学	●植物生理学 ●細胞分子生物学 ●植物機能科学	
環境化学系	●分析化学	●土壌学 ●環境分析化学 ●物質循環論 ●水圏環境化学	●環境土壌学 ●肥料学 ●機器分析化学	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 環境分析・環境アセスメントをめざす

想定される具体的な進路・職種	環境アセスメントのコンサルティング会社、環境分析系の会社
----------------	------------------------------

本学科の特徴である生物と化学に関する専門科目を幅広く学習することによって、専門基礎的な学力と知識を身に付けます。また、実験・実習の経験、さらにフィールドでの調査なども体験として学ぶことによって、地球環境問題への関心を高め、環境アセスメントのコンサルティング会社、環境分析系の会社で働くことをめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
全学 共通 教育 部門	人間と文化科目群	●アジア文化論 ●文化人類学の世界		
	人間と社会科目群	●日本国憲法 ●国際化時代の人間と社会		
	自然と環境科目群	●物質の成り立ち ●生命の多様性 ●人間と環境		
	言語コミュニケーション科目群	●英語基礎Ⅰ（リーディング） ●英語基礎Ⅱ（リーディング） ●英語基礎Ⅰ（コミュニケーション） ●英語基礎Ⅱ（コミュニケーション）	●英語初級Ⅰ-Ⅰ（リーディング） ●英語初級Ⅰ-Ⅱ（リーディング） ●英語初級Ⅰ-Ⅰ（コミュニケーション） ●英語初級Ⅰ-Ⅱ（コミュニケーション）	

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
情報技術科目群	●コンピュータリテラシー ●情報活用リテラシー ●情報社会と倫理			
健康とスポーツ科目群	●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ			
専門部 専門群	●生物学 ●化学 ●物理学 ●数学 ●生物学実験 ●地学 ●化学実験	●情報科学	●科学英語Ⅰ ●科学英語Ⅱ	
学系共通	●生物環境実習 ●生物環境科学概説 ●生物環境科学Ⅰ ●無機化学 ●農場実習	●生物環境科学Ⅲ ●生物環境科学Ⅱ ●生物環境科学実験Ⅰ ●インターンシップⅠ ●生物測定学	●生物環境科学実験Ⅱ ●環境法 ●環境アセス論 ●インターンシップⅡ ●ゼミナールⅠ	●卒業研究 ●ゼミナールⅡ
	●生物環境科学特別講義Ⅰ			
生態保全学系	●種子植物分類学	●保全植物学 ●生態学	●環境動物学 ●野生動物管理論 ●帽菌類生態学 ●動物保全生態学 ●環境ストレス生物学	
緑地創造学系		●森林生態学 ●緑地環境学	●緑地材料学	
生物機能調節化学系	●生物化学	●微生物学 ●植物生命化学 ●環境微生物学	●植物生理学 ●植物機能科学	
環境化学系	●分析化学	●土壌学 ●物質循環論	●環境土壌学	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 都市の"緑"のアメニティの向上と創造をめざす

想定される具体的な進路・職種	造園会社、コンサルティング会社、公務員
----------------	---------------------

本学科の特長である環境関連の科目を広く学習することによって、人の生活環境についてさまざまな視点から考え、植物の育つ土壌分析、植生調査さらにはランドスケープ・デザインに関する学力と知識を身に付けます。この総合的な観点を得ることによって、公園や緑地の創造あるいは環境の再生を目的とする分野である、造園会社、コンサルティング会社などの民間、公務員として緑地関連の行政分野で働くことをめざす人のための履修モデルです。

● : 選択科目   ● : 選択必修科目   ● : 必修科目

区分	授業科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
全学 共通 教育 部門	人間と文化科目群	●歴史と文化 ●芸術文化論			
	人間と社会科目群	●日本国憲法 ●都市と人間			
	自然と環境科目群	●物質の成り立ち ●生命の多様性 ●人間と環境			
	言語コミュニケーション科目群	●英語基礎Ⅰ (リーディング) ●英語基礎Ⅱ (リーディング) ●英語基礎Ⅰ (コミュニケーション) ●英語基礎Ⅱ (コミュニケーション)	●英語初級Ⅰ-Ⅰ (リーディング) ●英語初級Ⅰ-Ⅱ (リーディング) ●英語初級Ⅰ-Ⅰ (コミュニケーション) ●英語初級Ⅰ-Ⅱ (コミュニケーション)		
	情報技術科目群	●コンピュータリテラシー ●情報活用リテラシー ●情報社会と倫理			
	健康とスポーツ科目群	●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ			
専門 部門	基礎教育科目群	●生物学 ●化学 ●生物学実験 ●地学 ●化学実験	●情報科学	●科学英語Ⅰ ●科学英語Ⅱ	
	学系共通	●生物環境実習 ●生物環境科学概説 ●生物環境科学Ⅰ ●農場実習 ●生物環境科学特別講義Ⅰ	●生物環境科学Ⅲ ●生物環境科学Ⅱ ●生物環境科学実験Ⅰ ●インターンシップⅠ ●生物測定学 ●生物環境科学特別講義Ⅰ	●生物環境科学実験Ⅱ ●環境法 ●環境アセス論 ●インターンシップⅡ ●ゼミナールⅠ ●生物環境科学特別講義Ⅰ	●卒業研究 ●ゼミナールⅡ ●生物環境科学特別講義Ⅰ
		●生物環境科学特別講義Ⅰ			
	生態保全学系	●種子植物分類学	●保全植物学 ●生態学	●環境動物学 ●野生動物管理論 ●帽菌類生態学 ●動物保全生態学 ●環境ストレス生物学	
緑地創造学系		●ランドスケープ・デザイン学 ●森林生態学 ●緑地環境学	●緑地材料学 ●ランドスケープ・デザイン演習 ●オープン・スペース論		

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
生物機能調節 化学系		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植物栄養学</li> <li>● 植物生命化学</li> <li>● 環境微生物学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植物生理学</li> <li>● 植物機能科学</li> </ul>	
環境化学系		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 土壌学</li> <li>● 物質循環論</li> <li>● 水圏環境化学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境土壌学</li> <li>● 肥科学</li> </ul>	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 教員をめざす

想定される具体的な進路・職種	高等学校教諭（理科・生物）、中学校教諭（理科）
----------------	-------------------------

本学科の特長であるフィールド調査をはじめ各種実験を行うことによって、幅広い知識と教養を身に付けます。高等学校教諭一種免許状（理科、農業）および中学校教諭一種免許状（理科）を取得し、教員をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分	授業科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
全 学 共 通 教 育 部 門	人間と文化科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アジア文化論</li> <li>● 文化人類学の世界</li> </ul>			
	人間と社会科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本国憲法</li> <li>● 国際化時代の人間と社会</li> </ul>			
	自然と環境科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物質の成り立ち</li> <li>● 生命の多様性</li> <li>● 人間と環境</li> </ul>			
	言語コミュニケーション科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語基礎Ⅰ（リーディング）</li> <li>● 英語基礎Ⅱ（リーディング）</li> <li>● 英語基礎Ⅰ（コミュニケーション）</li> <li>● 英語基礎Ⅱ（コミュニケーション）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語初級Ⅰ-Ⅰ（リーディング）</li> <li>● 英語初級Ⅰ-Ⅱ（リーディング）</li> <li>● 英語初級Ⅰ-Ⅰ（コミュニケーション）</li> <li>● 英語初級Ⅰ-Ⅱ（コミュニケーション）</li> </ul>		
	情報技術科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピュータリテラシー</li> <li>● 情報活用リテラシー</li> <li>● 情報社会と倫理</li> </ul>			
	健康とスポーツ科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康・スポーツ科学Ⅰ</li> <li>● 健康・スポーツ科学Ⅱ</li> </ul>			

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
専門群部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物学</li> <li>●化学</li> <li>●物理学</li> <li>●数学</li> <li>●生物学実験</li> <li>●化学実験</li> <li>●地学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報科学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●科学英語Ⅰ</li> <li>●科学英語Ⅱ</li> </ul>	
学系共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物環境実習</li> <li>●生物環境科学概説</li> <li>●生物環境科学Ⅰ</li> <li>●無機化学</li> <li>●農場実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物環境科学Ⅲ</li> <li>●生物環境科学Ⅱ</li> <li>●生物環境科学実験Ⅰ</li> <li>●インターンシップⅠ</li> <li>●生物測定学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物環境科学実験Ⅱ</li> <li>●環境法</li> <li>●環境アセス論</li> <li>●インターンシップⅡ</li> <li>●ゼミナールⅠ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業研究</li> <li>●ゼミナールⅡ</li> </ul>
	●生物環境科学特別講義Ⅰ			
生態保全学系		<ul style="list-style-type: none"> <li>●生態学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境動物学</li> <li>●動物保全生態学</li> <li>●環境ストレス生物学</li> </ul>	
緑地創造学系		<ul style="list-style-type: none"> <li>●森林生態学</li> <li>●緑地環境学</li> </ul>		
生物機能調節化学系	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物化学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●植物栄養学</li> <li>●微生物学</li> <li>●植物生命化学</li> <li>●環境微生物学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●植物生理学</li> <li>●細胞分子生物学</li> <li>●植物機能科学</li> </ul>	
環境化学系	<ul style="list-style-type: none"> <li>●分析化学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土壌学</li> <li>●環境分析化学</li> <li>●物質循環論</li> <li>●水圏環境化学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境土壌学</li> <li>●肥料学</li> <li>●機器分析化学</li> </ul>	
教職関係科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教職入門</li> <li>●教育心理学</li> <li>●教育原論</li> <li>●教育課程論</li> <li>●生徒・進路指導論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道徳教育の研究</li> <li>●教育方法論</li> <li>●【理科】物理学実験Ⅰ</li> <li>●【理科】地学実験Ⅰ</li> <li>●教育行政論</li> <li>●【理科】理科教育の研究Ⅰ</li> <li>●特別活動の研究</li> <li>●学校教育相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【理科】理科教育の研究Ⅱ</li> <li>●【農業】農業科教育の研究</li> <li>●【農業】職業指導論Ⅰ</li> <li>●【理科】理科授業研究</li> <li>●【農業】農業科授業研究</li> <li>●教育実習の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育実習Ⅰ</li> <li>●教育実習Ⅱ</li> <li>●教育実習の研究</li> </ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。